

## 平成 22 年度財団法人水戸市国際交流協会事業報告

### (1) 海外諸都市との国際交流事業

市民間の交流, 相互理解, 友好親善を目的に, 国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市との交流をさらに深めました。

#### ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

##### (ア) アナハイム市親善訪問団の派遣

期 間 : 平成 22 年 11 月 11 日(木)~18 日(木) 8 日間

内 容 : 市役所表敬訪問, 市内施設(サイブロン(株)口腔歯科医訓練センター, エンゼル・スタジアム, アナハイム・コンベンションセンター他)視察, オーランド市, マイアミ市施設等の視察・見学, 報告書発行

団 員 : 団 長 福島 辰三(市議会議員)

団 員 市民 男性 16 人 女性 3 人

市議会議員 男性 7 人(団長含む)

市職員 男性 1 人, 女性 1 人

協会職員 男性 1 人, 女性 1 人

計 30 人(男性 25 人, 女性 5 人)

##### (イ) 水戸市学生親善大使の派遣

応 募 者 : 45 人(中学生 11 人, 高校生 34 人)

選考試験 : 平成 22 年 5 月 27 日(木)書類選考, 6 月 6 日(日)集団討論・面接

派遣期間 : 平成 22 年 7 月 23 日(金)~8 月 8 日(日) 17 日間

内 容 : アナハイム市でのホームステイ等を通じて, 市民との友好交流, アメリカ合衆国の文化等の学習と体験, 報告書発行

派遣人員 : 12 人(中学生 6 人, 高校生 6 人, 引率 1 人, 協会職員 2 人)

団 長 : 細谷康之(赤塚中学校教諭)

結 団 式 : 平成 22 年 7 月 17 日(土)

研 修 : 事前研修 平成 22 年 6 月 26 日(土), 7 月 3 日(土), 17 日(土)

事後研修 平成 22 年 8 月 21 日(土)

##### (ウ) アナハイム市学生親善大使の受入

期 間 : 平成 22 年 6 月 25 日(金)~7 月 8 日(木) 14 日間

内 容 : 市役所表敬訪問, 稲荷第二小学校, 緑岡中学校, 水戸桜ノ牧高校への授業参加, 東京及び水戸市内施設見学, 歓迎会開催など

人 員 : 5 人(女子学生 4 人, 女性引率 1 人)

- 滞 在 先：大津 智則 様(備前町)宅：ダニエル・ヴァルガスさん(女性)  
落合 貴裕 様(元吉田町)宅：アルヴィナ・ヒンさん(女性)  
佐々木 康 様(元吉田町)宅：デボラ・クェクさん(女性)  
大平 正芳様(石川)宅：ニュ・グエンさん(女性)  
黒澤 隆之様(愛宕町)宅：クリスティーナ・マグワイアさん (引率女性)
- ・ホストファミリーの募集：広報みと、当協会ホームページ等を通し公募
  - ・ホストファミリー説明会：平成 22 年 6 月 13 日(日)
  - ・市民との交流会 (どうようサロンに参加)：平成 22 年 7 月 3 日(土)

## (2) 市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティア団体等の活動が、円滑に行えるよう支援するとともに、市民に対し、団体等の交流活動の紹介や講演会などを通して、国際理解を深めてもらうための啓発事業を行いました。

### ア 国際交流のつどいの開催

市民及び市内在住外国人との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図った。また、今後ますます関係が深くなるアジアにスポットを当て、水戸市とアジアの交流に関連した事業を行った。(※当初の計画では3月27日までを会期としていたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、3月12日以降の事業は中止とした。)

#### (ア) 各種パネル展の開催

期 間：平成 23 年 3 月 4 日(金)～11 日(金) 8 日間 (3 月 12 日以降は中止)  
観覧者数：164 人

##### ① 国際交流団体の活動紹介パネル展

内 容：水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の、日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。

参加団体：15 団体

##### ② 姉妹都市・友好交流都市写真パネル展

内 容：姉妹都市アナハイム市、友好交流都市重慶市との交流の歴史をまとめたパネルや写真などを展示した。

#### (イ) 講演会「日本の伝統音楽とアジア～その交流からみえるもの～」の開催

期 日：平成 22 年 3 月 6 日(土)

講 師：田中 健次 (茨城大学教育学部教授)

内 容：日本の伝統音楽はアジア諸国から受け入れたもので、それらが変化して現在に伝わっている。アジアとの交流を「音楽」という視点から解説した。

参加者数：39人

#### 【震災により中止した事業】

##### 交流会「アジアフードフェア」

予定期日：平成23年3月12日(日)

内 容：アジア各国の料理を通して、各国の文化を知る交流会の開催

##### 交流サロン

予定期日：平成23年3月12日(日)

内 容：外国人との交流の場を提供

#### イ 国際交流団体連絡会議

水戸市国際交流センターを拠点に国際交流活動を行っているボランティア団体の連絡会議を開催した。

内 容：ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などについてをテーマにした会議を開催した。

期 日：平成23年1月25日(火)

参加団体：7団体

#### ウ 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援（MIJネットワーク支援）

水戸市国際交流センターを拠点にして外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク（通称：MIJネットワーク）」の活動を支援した。

内 容：日本語ボランティア団体が、毎月第2木曜日に行う勉強会や定期的  
に実施する研修会等の活動を支援した。

研 修 会：①「(1) 話すこと, (2) 読むこと, (3) コミュニカティブアプローチの実践,  
(4) 子どもたちの母語と日本語学習, (5) 誤用への対応」

期 日：平成22年9月26日(日)

講 師：岡崎 敏雄（筑波大学大学院人文社会科学研究科 講師）

参加人数：32人

②「『みんなの日本語初級1・2』を使った日本語の教え方について」

期 日：平成23年2月20日(日)

講 師：木戸恵子（目白大学留学生別科 非常勤講師）

参加人数：32人

### (3) 国際交流に関する講演・講座・研修等の実施

市民に、国際交流及び世界の文化などについて理解を深めてもらうため、各種講座を実施するとともに、国際交流パーティーを開催し、市民と外国人との交流の場の創出に努めました。また、市内小学校や地域団体に国際理解のため、外国人を講師として派遣しました。

#### ア 国際理解講座の開催

##### (ア) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～

地域の在住外国人を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学んだ。

###### ① 韓国編

期 日：平成22年6月19日(土)

対 象：一般

内 容：ビビンバ、ブゴク（干し鱈のスープ）、切干大根のキムチといった韓国料理の実習及び文化の紹介

講 師：朴 美貞（韓国語講師）

受講者数：20人

###### ② ガーナ編

期 日：平成22年9月4日(土)

対 象：一般

内 容：フロー（ガーナのシチュー）、コーセ（ガーナ風さつまあげ）、ガリ（キャッサバ芋で作る主食）といったガーナ料理の実習及び文化の紹介

講 師：エイキンス・パーコフィ（英会話講師）

受講者数：17人

###### ③ インドネシア編

期 日：平成22年11月20日(土)

対 象：一般

内 容：ナシクニン（黄色いご飯）、トゥロールブラド（揚げたまごのサンバルソースがけ）、サラダルジャク（インドネシア風サラダ）といったインドネシア料理の実習及び文化の紹介

講 師：吉谷アンナ（外国人相談員）

受講者数：20 人

#### ④ ドイツ編

期 日：平成 23 年 1 月 22 日(土)

対 象：一般

内 容：グラシュ（肉の煮込み）、キャベツとベーコンの炒め煮といった  
ドイツ料理の実習及び文化の紹介

講 師：渡邊ロスビタ（ドイツ語講師）

受講者数：19 人

#### (イ) 簡単語学講座～はじめのいっぽ～

毎回異なった国の言葉を取り上げ、地域の在住外国人を講師として招き、簡単な日常会話やあいさつを学びながら、その言葉の由来や意味などから、背景にある文化や生活、習慣などを知る講座を開催した。

##### ① タイ語編

期 日：平成 22 年 8 月 21 日(土)

対 象：一般

講 師：宮内パパスサラ（タイ語通訳・講師）

受講者数：18 人

##### ② ドイツ語編

期 日：平成 22 年 10 月 23 日(土)

対 象：一般

講 師：渡邊ロスビタ（ドイツ語講師）

受講者数：30 人

##### ③ フランス語編

期 日：平成 23 年 1 月 15 日(土)

対 象：一般

講 師：ジロー・ナタリー（フランス語講師）

受講者数：28 人

#### (ウ) 世界の歩き方講座

各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の歩き方などを学ぶことを通して、国際理解を深めた。

##### ① 中国編

期 日：平成 22 年 6 月 2 日(水)

対 象：一般

内 容：めざましい成長を遂げる中国，また万博開催に沸く上海に焦点を当て，中国の観光事情や最新情報を中心に紹介した。

講 師：範 巨靈（中国国家観光局首席代表）

受講者数：55人

## ② チェコ編

期 日：平成22年10月7日(木)

対 象：一般

内 容：チェコ共和国を取り上げ，大国に翻弄された歴史や，非暴力を貫いたチェコ人の人間尊重の精神等にも触れて紹介した。

講 師：大鷹 節子（日本チェコ友好協会会長）

受講者数：79人

## (エ) ホビングリッシュ講座

「ホビー（趣味）」と「イングリッシュ（英語）」を合わせた造語，「ホビングリッシュ」。実習型テーマに，外国人講師とともに英語で取り組むことによって，参加者が自然な英会話を楽しみ，講師との交流から外国文化への理解を深めることを目的として実施した。

期 日：平成23年1月28日(金)

対 象：一般

内 容：「Netting 編」と題し，ハンモックやバッグなどにも応用のきく網細工の方法を英語で学んだ。

講 師：トッド・トレフソン（技術開発協力員）

受講者数：15人

## (オ) 親と子の国際講座(水戸ユネスコ協会青年部と共催)

小・中学生とその保護者を対象に，外国や日本の文化に触れることを通して，相互理解の精神を身につけ，多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。

### ① 「つくって学ぼう！世界のおやつ」

期 日：平成22年6月27日(日)

対 象：小学生とその保護者，中学生

内 容：様々な国のおやつに注目し，その国の紹介とレクレーションを通して国際理解を深めた。また，実際に中国(ごまだんご)，イギリス(スコーン)，フランス(マドレーヌ)のおやつを作って味わった。

受講者数：28人(子ども16人，保護者12人)

## ② 「世界！お祭りツアー」

期 日：平成22年12月12日(日)

対 象：小学生とその保護者，中学生

内 容：「祭り」をテーマにしたすごろくやかるたを使い，世界各地の祭りについて学んだ。また，中国の春聯(しゅんれん)の作成や韓国の伝統料理の試食を通して留学生と交流し，楽しみながら国際理解を深めた。

受講者数：26人(子ども18人，保護者10人)

## (カ) 国際理解のつどい(メサフレンドシップと共催)

テーマに沿ったゲストスピーカーを招き，その国の文化や諸事情について知り，見識を深めた。

期 日：平成22年10月17日(日)

対 象：一般

内 容：ナイロビ近郊で「マトマイニ」という孤児院を運営しながら，地域住民の自立支援活動に日々奔走している菊本氏に，チャンスがあれば秘めた力を発揮するケニアの若者の実像と，‘物づくり’を通して支援に力を注ぐ日々様子を語ってもらうとともに，アフリカの現状について学んだ。

講 師：菊本 照子(東アフリカ子供救援センター代表)

参加者数：74人

## イ 国際交流パーティーの開催

市内及び水戸市近郊の在住外国人と市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに，交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。

### (ア) 花火鑑賞会

期 日：平成22年8月6日(金)

内 容：花火大会(黄門まつり)の鑑賞，市民と外国人との交流

参加者数：43人(うち外国人21人)

### (イ) お月見パーティー(ラブニールと共催)

期 日：平成22年10月2日(土)

内 容：お月見をテーマに日本の文化紹介(着付，けん玉，書道，折紙，茶道)，市民と外国人との交流

参加者数：83人(うち外国人46人)

**(ウ) 年末パーティー(ラブニールと共催)**

期 日：平成22年12月18日(土)

内 容：日本語教室生徒による発表会，市民と外国人との交流

参加者数：116人(うち外国人48人)

**ウ 国際理解のための外国人紹介**

国際理解推進のため，市内の学校や公的機関等が，国際交流に関する講座等を開催する際に在住外国人を紹介した。

紹介数：12件(小学校5件，高校4件，その他公的機関等3件)

紹介者数：28人

**エ 中心市街地との連携事業の実施**

中心市街地の賑わいの創出を図りながら，市民に世界の文化などについて理解を深めてもらうため，くろばね商店会が開催した「くろばね朝市と世界の屋台村」に協力参加した。

期 日：平成22年10月24日(日)

会 場：くろばねパーク(水戸市宮町駐車場)

内 容：世界の屋台市への外国人出店の協力(出店屋台：中国，韓国，ベトナム，タイ，フランス，ドイツ，インドネシア)

**(4) 市内在住の外国人に対する支援**

市内在住外国人や留学生に対し，水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため，各種事業を行い，相互理解を深めました。

**ア どうようサロンの開催**

英語どうようサロン～English Smoothie～(常磐大学の協力)

英語を使つての外国人同士の情報交換や市民との交流サロンを，毎月第1土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成22年4月3日(土)	21人(うち外国人5人)
2	5月1日(土)	12人(うち外国人3人)
3	6月5日(土)	18人(うち外国人5人)



4	7月3日(土)	28人(うち外国人12人)
5	8月7日(土)	13人(うち外国人1人)
6	9月4日(土)	11人(うち外国人1人)
7	10月9日(土)	21人(うち外国人12人)
8	11月6日(土)	15人(うち外国人9人)
9	12月4日(土)	20人(うち外国人12人)
10	平成23年1月8日(土)	19人(うち外国人4人)
11	平成22年2月5日(土)	18人(うち外国人4人)
	合計	196人(うち外国人68人)

## イ 子どものための日本語ボランティア学校派遣

### (ア) 子どものための日本語ボランティア学校派遣

水戸市教育委員会と連携しながら、日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、ボランティアが市立小・中学校へ出向き、日本語を指導

- 日本語ボランティア学校派遣

対象児童・生徒数：16人

ボランティア数：7人

派遣学校：城東小学校、五軒小学校、吉田小学校、寿小学校、緑岡小学校、第一中学校、第三中学校、見川中学校、双葉台中学校、千波中学校

派遣回数：678回

- 第1,2,3木曜日に勉強会を開催

- 研修会

期 日：平成23年2月24日(木)

内 容：「子どもたちの夢と希望のために、誰が何をすべきか  
ー外国につながる子どもたちの教育を考えるー」

講 師：若林秀樹(宇都宮大学国際学部准教授)

参加者数：45人

### (イ) 子どものための日本語ボランティアの育成

日本語を母語としない子どもに日本語を教えるボランティアとして活動を目指す方を対象に講座を開催

① 子ども向け日本語ボランティア養成講座(主催：当協会、水戸市教育委員会、せきれいの会、共催：茨城県国際交流協会)

期 日：平成22年10月14日～平成23年2月3日の毎週木曜日(12月23

日・30日を除く) (全15回)

講師：片山 尹久子 (茨城県日本語教育アドバイザー)

対象：養成講座及び実践講座を修了後、派遣要請のある水戸市内の市立小・中学校に行き指導のできる方

受講者数：27人 (うち修了者数19人)

② 子ども向け日本語ボランティア実践講座 (主催：当協会、水戸市教育委員会、せきれいの会) 【平成22～23年度の継続事業】

期 日：平成23年2月10日～3月10日の毎週木曜日 (全5回 ※平成22～23年度の継続事業)

講師：「子ども向け日本語ボランティア せきれいの会」会員

対象：養成講座修了者

受講者数：18人

ウ 外国人のための日本文化体験事業の実施

(ア) 外国人のための市内ウォッチング

市内及び水戸市近郊在住の外国人に水戸市の公共施設などを知ってもらい、今後積極的に利用してもらおうとともに、参加者同士の交流を深めることを目的として実施した。

期 日：平成23年2月25日 (金)

対 象：外国人

訪 問 先：映画「桜田門外ノ変」オープンロケセット、ケーズデンキスタジアム水戸、茨城空港、水戸市植物公園

参加者数：17人

(イ) 外国人のための日本料理教室

日本料理を学ぶことで、日本文化への理解を深め、日本での生活を豊かにすることを目的として実施した。

①AETのための日本料理教室 (水戸市教育委員会と共催)

期 日：平成22年7月30日 (金)

対 象：水戸市英語指導助手 (AET)

内 容：AETを対象として、茶碗蒸しや巻き寿司などの日本料理の実習を通して日本文化を学ぶ教室を開催した。

講師・協力：メサフレンドシップ

参加者数：24人

## ②外国人のための日本料理教室（水戸ユネスコ協会と共催）

期 日：平成 22 年 11 月 6 日（日）

対 象：外国人

内 容：外国人を対象として、しいたけごはん、さんまの南蛮漬け、満月たまごのすまし汁、茶まんじゅうなどの日本料理の実習を通して日本文化を学ぶ教室を開催した。

講 師：岡田 さかゑ（元中川学園調理技術専門学校講師）

参加者数：7 人

## （ウ）外国人のためのスキー体験教室（水戸市役所スキー部の協力）

雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらうことを目的として実施した。

期 日：平成 23 年 2 月 18 日（金）

対 象：外国人

会 場：猪苗代スキー場（福島県）

内 容：スキーを通して日本の自然の良さを知ってもらうとともに、外国人同士の親睦を深めるためのスキー体験教室を開催した。

講 師：水戸市役所スキー部員 4 人

参加者数：7 人

## エ 生活ガイドブック、英文地図の提供

内 容：英語と日本語併記の水戸市の生活ガイドブック (GUIDEBOOK FOR LIVING IN MITO)、英語で表記された水戸市の地図 (MITO CITY GUIDE MAP) を提供

対 象：外国人

## オ 外国人のための防災対策事業

地震などの災害が発生した際、外国人が文化や習慣、言葉の違いから大きな被害を受けてしまうことを防ぐため、防災意識の啓発や防災対策事業を行った。

### （ア）外国人のための消防訓練（水戸地区救急普及協会と共催）

期 日：平成 22 年 12 月 15 日（水）

内 容：避難、初期消火、AED（自動体外式除細動器）、心肺蘇生の訓練

参 加 者：17 人（外国人 5 人、ボランティア 3 人、センター利用者 1 人、協会役員 8 人）

**(エ) 英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供**

内 容：英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する  
防災マニュアルの提供（水戸市英文地図に掲載）

対 象：外国人

**カ 相談窓口の常設**

国籍等を問わず、生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、  
アドバイスや情報を提供した。

内 容：日本語学習，ボランティア活動，就職など

相談者数：435 人（うち外国人 307 人）

相談件数：435 件（電話相談 277 件，来館相談 158 件）

**(5) 国際交流に関する情報・資料の収集及び提供**

外国や日本の文化，国際交流等に関する図書，資料等を広く集め，市民や外国人に  
提供し，また機関紙及びホームページなどにより，情報の発信に努めました。

**ア 協会機関紙等による情報発信**

**(ア) 協会機関紙の発行**

日本語版：年 3 回発行（5 月，11 月，3 月：各 2,000 部作成）

市内公共施設，姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付

5 月 (36 号)	平成 22 年度の事業計画（日本語）
11 月 (37 号)	水戸市・アナハイム市学生親善大使の交流 等
3 月 (38 号)	世界の屋台村／世界教室 等

3 か国語版（英語・中国語・ハングル）：年 1 回発行（5 月：1,000 部作成）

市内在住外国人等に配布

5 月 (8 号)	平成 22 年度事業計画
-----------	--------------

**(イ) 広報資料の頒布**

情報発信の一環として，協会作成のエコバッグ，クリアファイルといった広報用  
資料を頒布

**イ 図書，資料等の収集，提供**

日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し提供

## ウ パソコンの利用, 提供

情報コーナーにパソコンを設置し, 来館者に提供

パソコン利用 : 502 件(うち外国人 349 件)

## エ ホームページによる情報提供

ホームページによる協会の最新情報, 事業内容, 運営情報等の提供

訪問者数 : 13, 800 件

<ホームページ企画>

タイトル	内 容
「日本発見記」	「外国人から見た水戸, 日本」をテーマに, 在住外国人へのインタビューを行い, 外国人の視点から水戸や日本がどのように見えるか, 発見したこと感じたことなどを聞いた。
「世界発見記」	世界の料理講座 (つくってみよう世界の料理) で学んだ料理の調理方法などを中心に, 毎回異なった国にスポットをあて, その国の文化や習慣などを紹介した。
「世界教室」	水戸出身の若者が世界各地をめぐりながら, 各国の人々の暮らしぶり, 世界で発見したことや感じたことを, 現地からのレポートや写真等を通して伝えた。

## (6) 国際交流基金等の造成

市民及び企業等からメモリアルプレート設置に協賛をいただき, 基金の造成に努めました。

### ア メモリアルプレートの設置協賛者募集

陶板 2 枚

### イ 一般寄付

1 件 50, 000 円

## (7) 水戸市国際交流センターの管理及び運営の受託

水戸市から国際交流センターの管理及び運営を委託され、市民から親しまれる施設として管理運営に努めました。また、3月11日に発生した東日本大震災に対し、必要な対応を図りました。

### ア センターの管理及び運営

#### (ア) センターの利用状況

区 分	件 数	人 数
国際交流関係	1,529 件	26,729 人
一 般	809 件	16,133 人
そ の 他	78 件	2,328 人
合 計	2,416 件	45,190 人 (うち外国人数 7,383 人)

開館日数：278 日（平成 23 年 3 月 12 日以降は震災の影響により臨時休館）

#### (イ) センターの管理運営

##### ① 施設利用受付及び貸出し業務

研修室等の貸出し、使用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を行い、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

##### ② 施設利用促進業務

ホームページによる情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。また、来館する外国人に対応するため、語学に堪能な職員を配置し、それぞれのニーズに応えられるよう務めた。

##### ③ 図書コーナーの管理業務

外国に関する情報、外国語の図書、日本語教育に関する教材、外国語新聞、ビデオなど国際交流に関するさまざまな情報の収集及び適切な管理を行うとともに、来館者への閲覧及び貸出し業務を行った。

##### ④ 施設・設備の維持管理及び補修業務

国際交流センターの施設及び設備を総合的に管理し、効果的な管理運営を図るとともに、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び修繕を行った。

##### ◇ 施設環境衛生管理業務

施設的美観を維持し、センターの利用者に対し快適な空間を提供するため、下記の業務を行った。

・ 日常清掃業務 休館日を除く毎日

- ・定期清掃業務 年2回(6月, 12月)
- ・害虫防除業務 年1回(3月) 調理室のみ
- ・排水設備清掃業務 年1回(3月)
- ・植物管理業務 月1回

#### ◇ 設備保守点検業務

設備の異常や故障を早期に発見し、各設備が常に支障なく機能することにより、来館者が安全で快適に利用できるよう関係法令及び保安規定等に基づき、またはそれに準じて点検・清掃・測定・検査等を実施した。

- ・空調及び給水設備保守点検業務 年2回(6月・12月)
- ・飲料水水質検査 年1回(3月)
- ・消防設備保守点検業務 年2回(6月・12月)
- ・エレベーター設備保守点検業務 月1回
- ・自動ドア保守点検業務 年3回(7月・11月・3月)
- ・自家用電気工作物保安管理業務 隔月1回

#### ◇ 施設警備業務

施設での盗難、火災その他侵入者の不法行為等による事故発生を未然に防止するとともに、万一事故が発生した場合には迅速かつ適切な措置により、被害を最小限にとどめるよう、勤務時間内については職員が館内及び敷地内を定期的に見回り、夜間及び休館日については機械警備及び巡回警備を行った。

### イ 利用者アンケートの実施

施設利用者へのサービス向上を図ることを目的として、利用者の満足度、要望等を把握するためのアンケート調査を実施した。

実施期間：平成23年1月12日～3月11日

対象者：センター利用者（国際交流団体、一般）

回答者数：434人（配布数701枚、回答率61.9%）

### ウ 東日本大震災への対応

平成23年3月11日に発生した東日本大震災への対応にあたった。

#### (ア) 施設、設備等の復旧作業

震災により、国際交流センターの施設躯体・設備等に損壊を受けたため、3月11日夜間以降、利用者の安全が確保できるまでの期間についてセンターを臨時休館とするとともに、臨時休館期間中は、その復旧に向け、修繕・修理などに取り組んだ。

## (イ) 外国人などからの相談への対応

地震発生以降の臨時休館期間中、在住外国人を中心に多数の相談が寄せられたため、電話などによりその対応にあたった。

## (8) その他

### ア 公益認定申請業務

公益財団法人への移行に向けた取り組みを進め、新法人における最初の評議員選定委員会の開催、新たな定款の変更の案の議決などを経たうえで、茨城県に対し公益認定申請を平成 22 年 11 月に行いました。

### イ 各種計画策定業務

当協会の運営や事業を計画的に推進していくため、各種計画を策定しました。

#### (ア) 当協会中長期計画の策定

今後の当協会の国際化・国際交流施策を計画的・総合的に展開していくための指針とするとともに、具体的な事業の実施に関する基本的な方針を明確にするため、計画策定委員会の議論や市民アンケート結果を踏まえたうえで、平成 23 年度から 27 年度を計画期間とする「中長期計画」を策定した。

#### (イ) 当協会経営改善計画の策定

当協会を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、今後の組織のあり方を明確にするとともに、国際交流事業を一層効果的・効率的に推進していくため、平成 20 年度から 22 年度を計画期間とする第一次「経営改善計画」を引き継ぐものとして、平成 23 年度から 25 年度を計画期間とする第二次「経営改善計画」を策定した。

### ウ インターンシップ（職場体験）の受入

学生等の就業意識の向上を図りながら、当協会や国際交流に対する理解の増進を図ることを目的として、地域の学生等に対し当協会における就業体験の機会を提供しました。

受入人数：5 件 7 名（大学生 2 名，高校生 4 名，中学生 1 名）

#### (1) 大学生

##### ① 茨城大学人文学部 2 年 女性 1 名

期間：平成 22 年 8 月 6 日～26 日（10 日間）

実習内容：事務補助，国際交流事業準備及び運営補助等



- ② カリフォルニア大学バークレー校 2年 米国人女性 1名  
期間：平成 22 年 11 月 25 日～12 月 18 日（11 日間）  
実習内容：事務補助（翻訳等），国際交流事業運営補助等

(2) 高校生

- ① 茨城県立水戸商業高校 2年 女子 2名  
期間：平成 22 年 10 月 5 日，6 日（2 日間）  
実習内容：事務及び施設管理補助，資料・図書整理等
- ② 大成女子高校 2年 女子 2名  
期間：平成 23 年 2 月 9 日，10 日（2 日間）  
実習内容：事務及び施設管理補助，資料・図書整理等

(3) 中学生

- ① 水戸市立見川中学校 2年 女子 1名  
期間：平成 22 年 11 月 16 日（1 日）  
実習内容：施設見学，日本語教室参加，事務補助